



2013年 Background Paper 'Connectivity'

「『相互結合性』とは、時の経過と共に価値を創造する組織の能力に影響を及ぼすもので、相互に異なる重要な要素間に認められる動態的で組織的な相互作用について、これを認識して他者との意思疎通を図ることに関するものである。<IR>は、価値創造に関する当該実体に特有の戦略シナリオに含まれる重要な要素間の相互の結びつきを再現するものである。」

2011年 Discussion Paperにおける『相互結合性』の定義

「統合報告書は、時の経過と共に価値を創造する組織の能力を左右する組織の構成要素間(components)にみとめられる結びつき、相互関連性および相互依存性を、包括的な価値創造ストリートとして、示さなければならない。Jp.18, Para.3.7

2013年 <IR>Frameworkにおける『相互結合性』の定義

「統合報告書は、時の経過と共に価値を創造する組織の能力に影響を及ぼす諸要素(factors)間にみとめられる結びつき、相互関連性および相互依存性の有機的な全体像(a holistic picture)を示さなければならない」p.16, Para3.6



Analysis of Value Creation Process at 3M Japan

Three significant strengths
which support Value Creation Process at
3M Japan

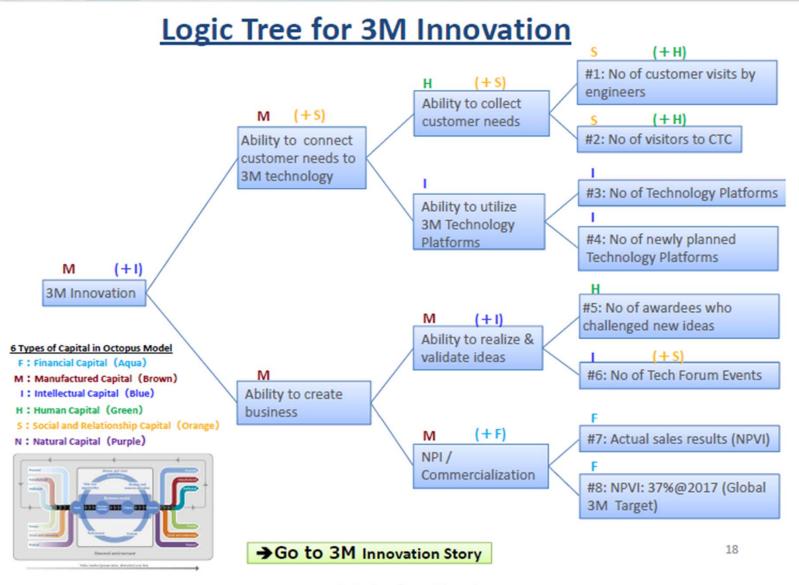
Innovation

Profit Management

Customer Contact

Logic Tree Analysis
Clarifying the
connectivity between
these strengths and
non financial indexes
is very important for
integrated reporting.







Logic Tree for Profit Management

